

高所設置煙感知器の点検作業が楽になる！ （システム天井も OK ）

試験用ガス放出を手元のリモコンで行う

無線型加煙試験器 YBS-01K

当社ホームページに動画があります

点検作業員の苦勞

自動火災報知設備の煙感知器を点検する試験器には、支持棒の先に試験用ガスを取付、先端を感知器に押し付けガスボンベの放出口を開閉して行っているものが主流であります、しかしこの場合、感知器の設置高が低い場所では押し付けることが可能であります。設置高6 m以上の場合や設置位置の下部に障害物がある場合は支持棒を斜めから操作しなければならぬため押し付ける力が伝わりにくく非常に困難であります。又、天井裏に設置された感知器の試験はほぼ水平になった支持棒を支えながら押し付けることはもっと大変であります。これらが点検作業員の負担が大きく効率の悪い点検作業になっています。このことからこの加煙試験器を開発しました。



本体



リモコン送信機

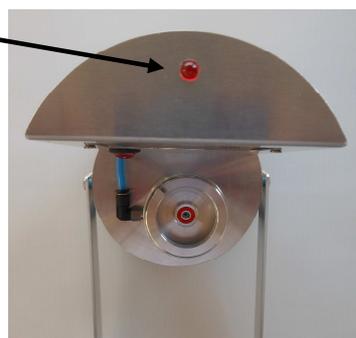
機能と特徴

1. 試験ガスを放出するために先端を感知器に押し付けることなく、先端カバーを感知器に触れさせ手元のリモコンのスイッチを押せば押ししている間、自動で試験用ガスが放出されます。また、カバーの高さが低い場合ガスを充填させる容積が少なく少量のガスで発報。（約 1 秒放出、ボンベ 1 本で 500 回以上使用可能）
2. 感知器に接触させる部分のカバーを透明ポリカーボネートにしたことで衝撃に強く丈夫で且つ感知器の作動確認灯の視認が容易であります。
3. 暗い場所で感知器を確認容易な LED 照明を取り付ました。（天井裏や高所には重宝します）
4. 支持棒と本体支持金具取付け部は 7mm のネジで東京消防設備保守協会製 HK-3 の器具と同じです。



ボンベ取り付け部及び取付ねじ

4. ガス放出中点灯する赤色LEDを本体下部に取付しガス放出がわかります、又、電池の電圧低下確認用にもなっています。
5. 作業者の負担を軽減させるための徹底した軽量化を図り、本体（乾電池含）380g + ガスボンベ 340g としました。
6. 電源はどこでも手に入るアルカリ形単4電池4本を使用します。（送信機の電池は27A・12Vです）



機器の仕様



- 性能評定番号 評 26-007 号
- 試験器種別：加煙試験器
- 試験器方式：ボンベ式
- 発煙材：不燃性ガス（HFC134a にユニスターH-334R を添加）
- 適応感知器：光電式スポット型及びイオン化式スポット型
- 寸法（単位 mm）・質量（単位 g）
 本体：縦 220×横 108×外径 φ 102
 約 380 g（アルカリ乾電池単 4×4 本含む）
 推奨支持棒：縮長 1,300 最大長 6,700
 外径 φ 41.3 約 1,700 g
 指定ガスボンベ：高さ 120 外径 65.8
 質量 340g（内容量 250 g）
- 送信機：約 21 g
 （アルカリ乾電池 27A・12V 含む）
- 送受信方式：315MHz（免許不要微弱電波）
 到達距離約 25m

リモコン送信機はどんな支持棒にも使用できるようにマジックテープで取付します。

メーカー希望販売価格 **¥39,000**（税別）
 本体のみ（支持棒・ボンベ・単4電池別）

この製品は一般社団法人全国消防機器販売業協会が一般財団法人日本消防設備安全センターの消防防災研究助成金の交付を受けて開発したものであります。

【お問合せ先】
 矢野防災設備株式会社
 TEL.059-352-6111
 mail info@yanobousai.co.jp
 URL <http://yanobousai.co.jp>